

加古川市農業委員候補者の推薦状況（個人による推薦）【中間公表】

【推薦の状況】 ※個人の推薦による農業委員候補者の分類記号……農個

整理番号	被推薦者（推薦を受ける者）								推薦者（推薦をする者）								被推薦者の農地の利用集積・集約化や遊休農地の発生防止・新規参入の促進などについての考え方	
	氏名	性別	年齢(才)	職業	経歴			農業経営の状況			認定農業者等であるか否かの別	個人						
					年月日	農業に関する経歴等		営農年数	営農類型	耕作面積(a)		氏名又は名称	性別	年齢	職業	農地利用最適化推進委員への推薦の有無	推薦の理由	
農個 1	フジワラ マサキ 藤原 正樹	男	68	農業	令和4年3月～【在職中】 農事組合法人志方東営農組合理事 令和4年4月～【在職中】 志方町行常農業団体長 令和5年7月～【在職中】 加古川市農業委員会委員	33	水稻 露地野菜	自作地 65 借地 12	認定農業者である 法人の業務執行役員または 重要な使用人（農場長等）	小原 騨 藤本 勝	男 男	70 74	農業 農業	無	志方東営農組合（副代表理事）、行常地区農業団体長を3年行い同時に加古川市農業委員を3年経験しており、数々の成果が出ており再推薦いたします。 地区営農においては、地域計画に基づき、農地の集約化、水稻・小麦の作付が難しい農地の畠地化（果樹園）、れんげによる減農薬・減肥料の取組を行い、大幅な収益改善成果がでています。又担い手不足の将来を見据えての省力化機械の導入を積極的に行い、自ら率先垂範して作業にもあたっており候補者として適任であり推薦いたします。	行常地区農地集積・集約：畦畔の撤去（T型ブロック含む）3年間で23ヶ所実施により作業の効率化、草刈の軽減と経費の節約ができました。現在も多面的を利用しながら進行中です。（畠地化申請も承認済）地域計画も一番に取組を行い承認されました。行常は担い手が30代1名と50代1名が居まして作成がすぐにできました。よって放棄田は今の所発生していませんが、行常営農と担い手で対応する予定です。行常地区全体の田・畠を行常営農と担い手3本柱で守って行きます。（約20ha） 農業委員になり各地色々と現地調査・立会いをしたおかげで発見が多く視野が広がり勉強になる事が多く有り良かったです。将来（10年後）的には、中山間地域の衰退と過疎・限界集落問題が押し寄せて来ますので（行常はすでに限界集落）国は、スマート農法、大規模化とか色々とかっこつけていますが、農業・農機メーカーの縮小は避けられないのが現状です。		